

## 令和6年度 錦城東小学校 学校経営計画

### 児童を中心に据え『人』を大切にした学校づくり

～子どもたちが通いたい、保護者・住民が通わせたい、教職員が働きたい学校づくり～

#### 1 校 訓 「やさしく さとく たくましく」

#### 2 学校教育目標 「自分も人も大切にできる きんひがの子」

～夢をもち、心豊かに、自ら学び行動できる児童の育成を目指して～

#### 3 目指す児童像

##### 「やさしく」

##### ・自分も人も大切にできる子

(自己有用感・自己肯定感をもつ、人のいたみがわかる、思いやりがある、友達と仲良くする、人に親切にする、人の役に立とうとする、等)

##### 「さとく」

##### ・自ら考え、友達の考えを聞き、向上心を持って学ぶ子

(人の話を最後までしっかり聞く、進んで学習に取り組む、友達と力を合わせて課題を解決しようとする、わかるまであきらめず根気よく努力する、等)

##### 「たくましく」

##### ・心と体の健康な子

(明るく元気にあいさつをする、進んで身体を動かし運動に親しむ、つらいことやいやなことがあったらだれかに相談できる、少々のことではへこたれない、目標を持ちその達成に向け粘り強く取り組む、等)

#### 4 目指す教師像

- (1) 児童のよさを認め、のばす教師
- (2) 教育に対する使命感を持ち、指導力向上に努める教師
- (3) 児童・保護者・地域から信頼される教師
- (4) 目標達成のために組織の一員として協働できる教師

## 5 具体的な取組

### (1) 教育活動に関する重点努力事項

- ① 確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成 ～知・徳・体のバランスのとれた児童の育成～
  - ・「誰ひとり取り残さない指導」の実現に向け、目指す授業像を明確にしながら、個別最適な学びと協働的な学びを大切に授業改善を進める。また、児童の基礎基本の知識・技能の確実な定着に努める。
  - ・道徳教育の充実を図り、地域や保護者と連携したり ICT を活用したりして道徳の授業改善を図り、児童に規範意識や思いやり、強い意志を持って粘り強く取り組む心情を育む。また、特別活動も大切に、行事や学級会を通じた意図的働きかけの中で自己肯定感の向上と自治力の育成を図る。活動を通して達成感や自己有用感を持たせることで、夢を持ち、向上心を高められるようにする。
  - ・体力テストの結果をもとに課題点を明確にし、意図的に体を動かしたり、遊んだりする機会を設定し、運動することの楽しさを存分に体験させるなどして、健康で丈夫な体作りを行う。
  
- ② どの子ども安全・安心に学べる学校づくり
  - ・児童の安全を最優先にする危機管理の徹底を図るとともに児童の危機回避能力を育成する。
  - ・いじめ根絶に向け質の高い道徳教育や人権教育を実践し、いじめの未然防止に努める。また、日頃より児童の言動にアンテナを高くし、小さなトラブルであっても見逃さず、即時対応に努める。そして、実際にいじめが発見されたときには、迅速かつ組織的に対応し早期解決に努める。
  - ・日頃からのコミュニケーション、観察、面談等によって、児童との関係性を確立し、気になることがあれば早期に対応し、保護者とも協力して不登校の未然防止に努める。

### (2) 学校経営に関する重点努力事項

- ① 組織的な学校運営
  - ・主任層が各々の職務を自覚、遂行するとともに「報告・連絡・相談」を大切に、主任間・学級間・教職員間の連携を図り、共通理解・共通実践できるよう組織的対応に努める。
  - ・日頃から職員間の親和的なコミュニケーションを大切に、職員個々の持つ資質・能力・良さを十分に発揮できるようにするとともに、悩みを一人で抱え込まず、職員全体で共有し、同僚性を高めていく。そして、【チームきんひが】として、困難な課題にも、学校全体で協働し、乗り越えていける職員集団となる。
  
- ② 教職員がやりがいを感じながら、生き生きと働ける学校づくり
  - ・校務の重点化、焦点化、効率化、協働化等を図りながら、業務改善・多忙化改善を推進し、時間外勤務時間を減らしていく。そして、教職員一人ひとりが、ワークライフバランスを考え、生き生きと働ける学校づくりを行う。